

高校生アンケート 調査結果に基づく分析

期間：R6.5.13～R6.5.31

対象：市内高等学校に通う高校2年生
(アンケート実施に協力いただけただ高等学校)

配布：1,145人

回収： 676人 (回答率：59.0%)

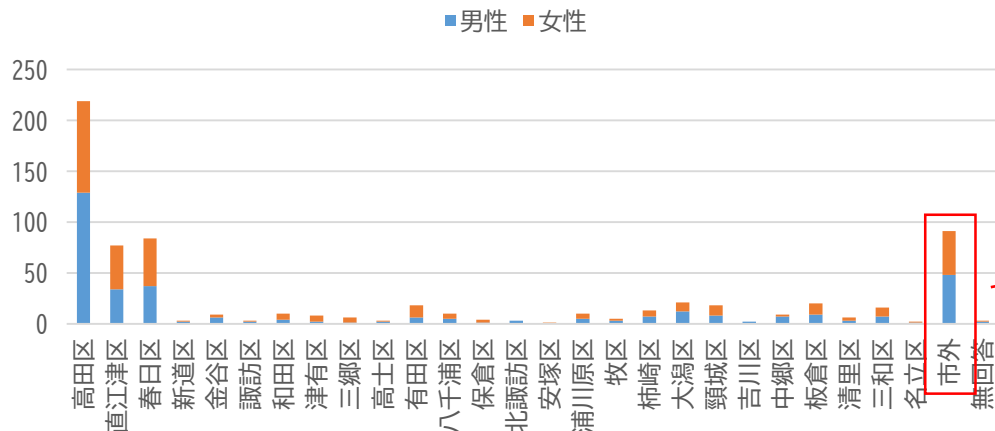
アンケート回答者の傾向

- アンケート回答率は、全体で59.0%。
- 家族構成は、2世代家族が約7割、3世代以上の同居家族が約3割となっている。
「その他」としては、寮生活をしている回答が多い。
- 回答者の居住区としては、高田区・春日区・直江津区の順で多く、市外では、妙高市在住が過半数を占める。

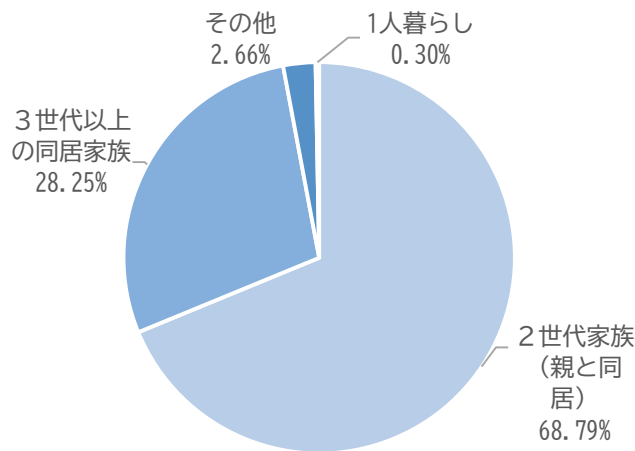
性別回答率

	回答数	配布数	
男性	348	579	60.1%
女性	326	566	57.6%
無回答	2	0	
全体	676	1,145	59.0%

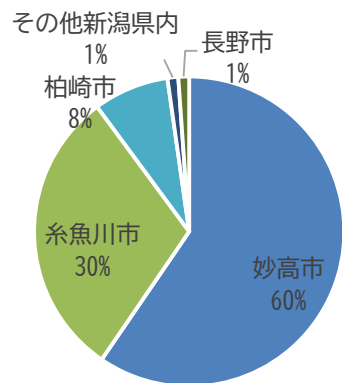
回答者の居住区



家族構成



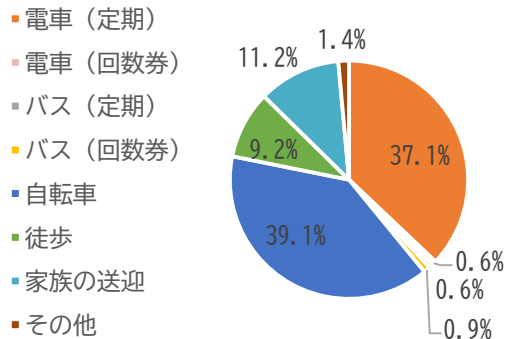
市外内訳



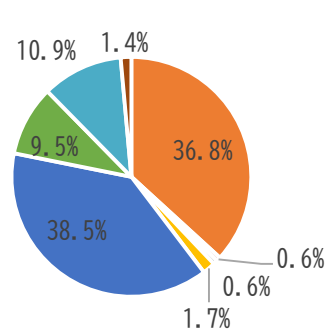
高校生の主な通学方法

- 通学方法は、男性が自転車、女性が電車を利用している人が多い。
- 男性と女性では、「家族の送迎」で10%程度の差がある。
- 登校時は「家族の送迎」、下校時は公共交通機関（回数券）を利用するケースもある。
- 居住区別では、高田区居住者は「徒歩」・「自転車」での登校が多い。

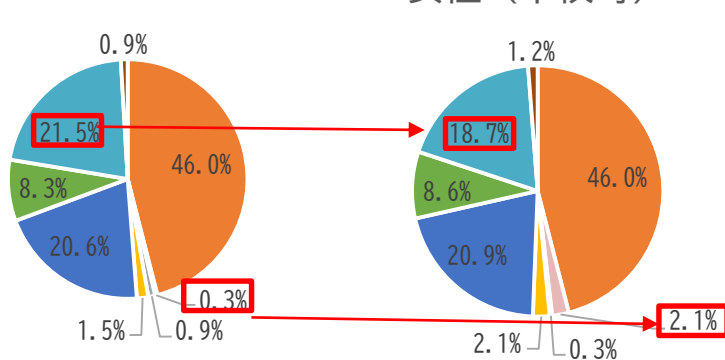
男性（登校時）



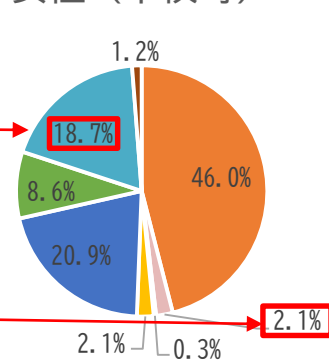
男性（下校時）



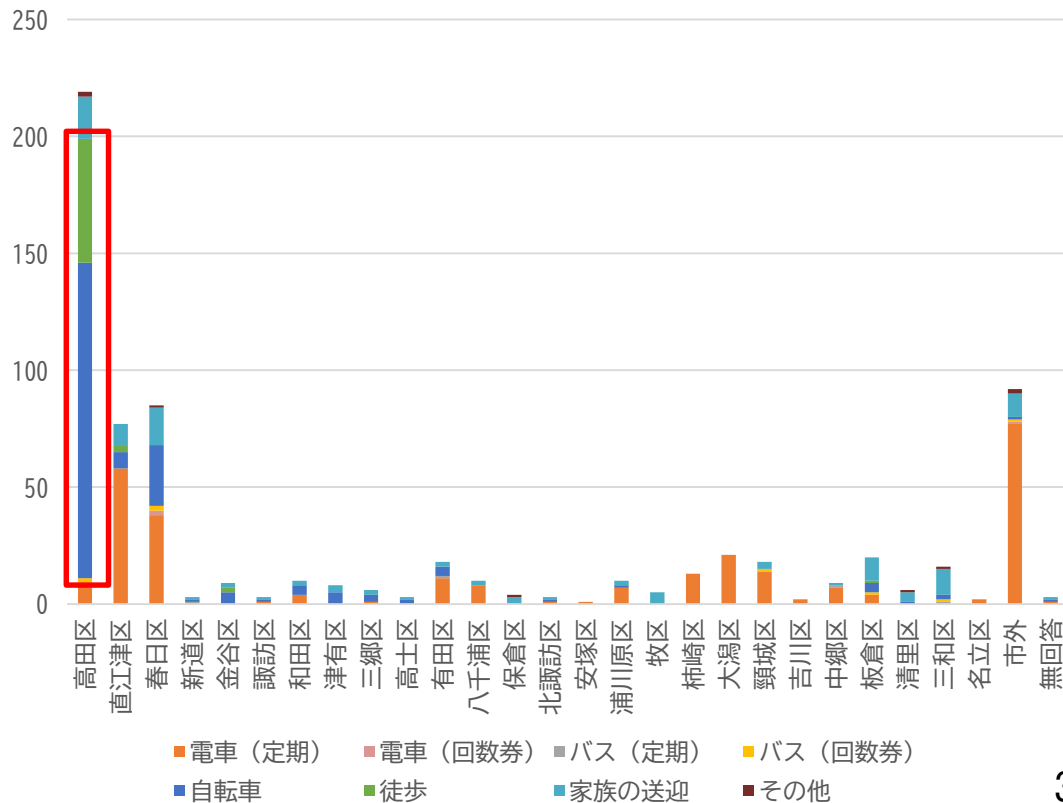
女性（登校時）



女性（下校時）



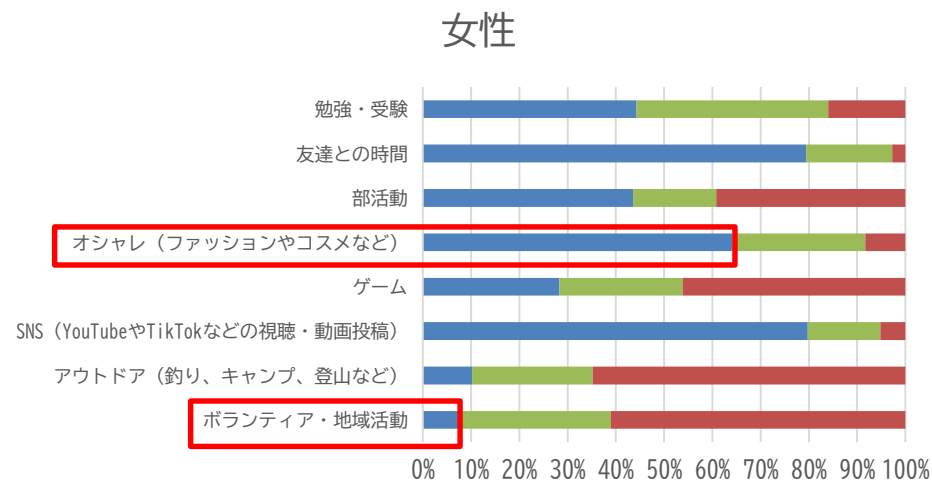
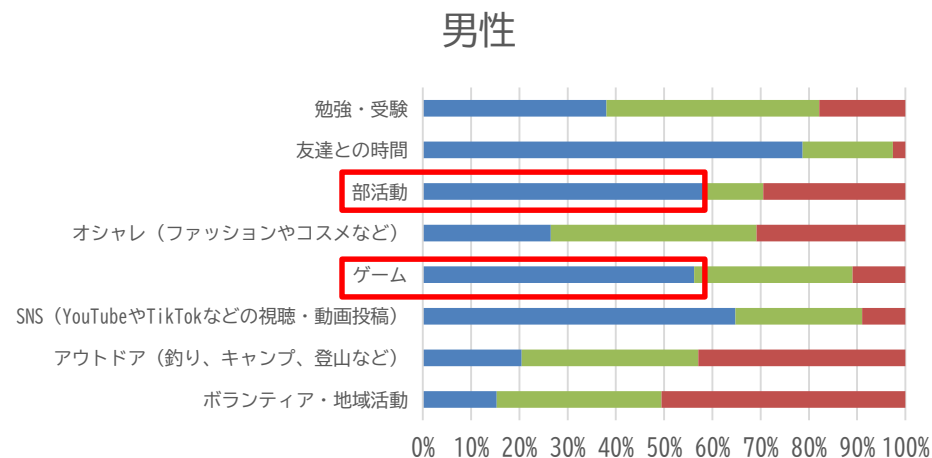
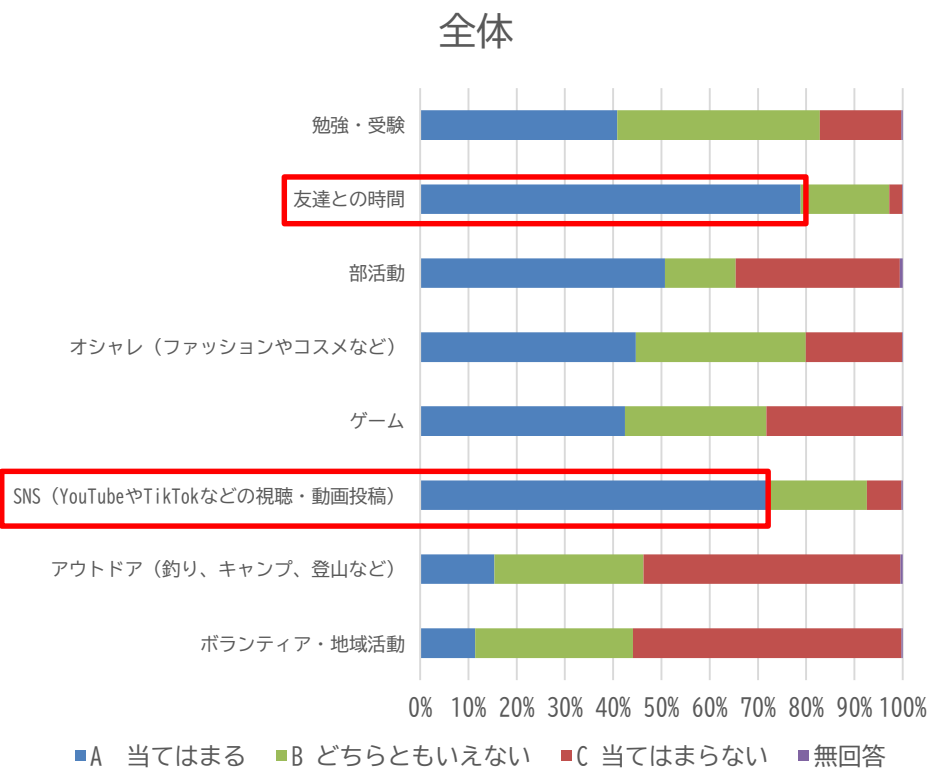
居住区別通学方法（登校時）



日頃関心を持っていること

- 「友達の時間」と「SNS」への関心が高く、男女別に見ると、男性は「部活動」や「ゲーム」、女性は「オシャレ」への関心が高く、全体と比較すると高くなる。
- 男女ともに「ボランティア・地域活動」への関心は低く、特に女性の割合が低い。
- その他として「読書」「アニメ」「音楽」「スポーツ」「恋愛」等の回答があった。

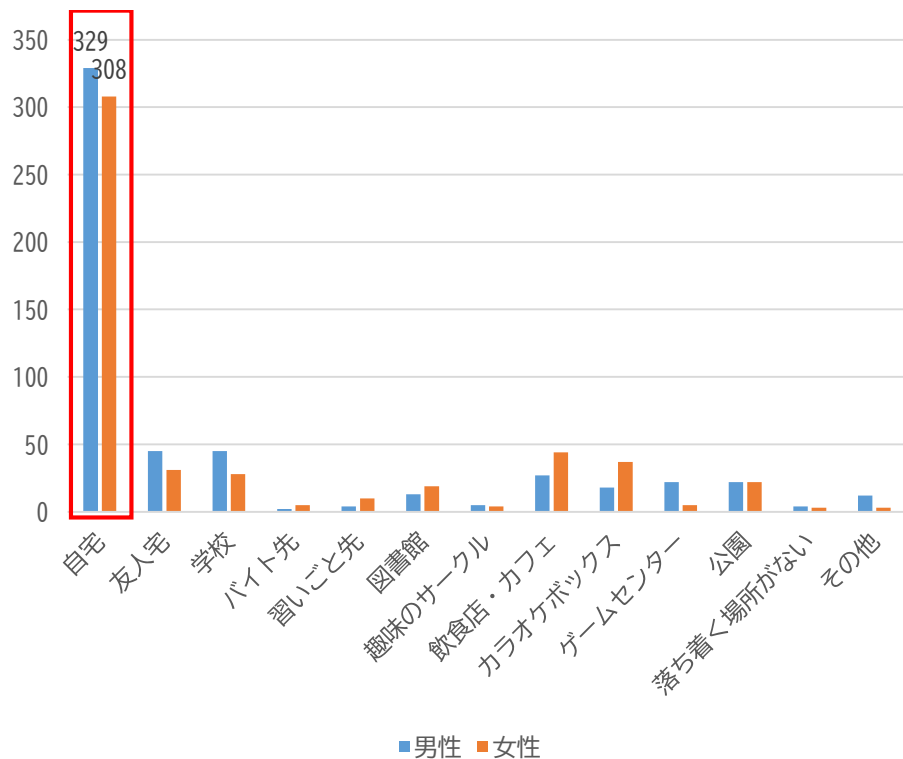
日頃関心を持っていること



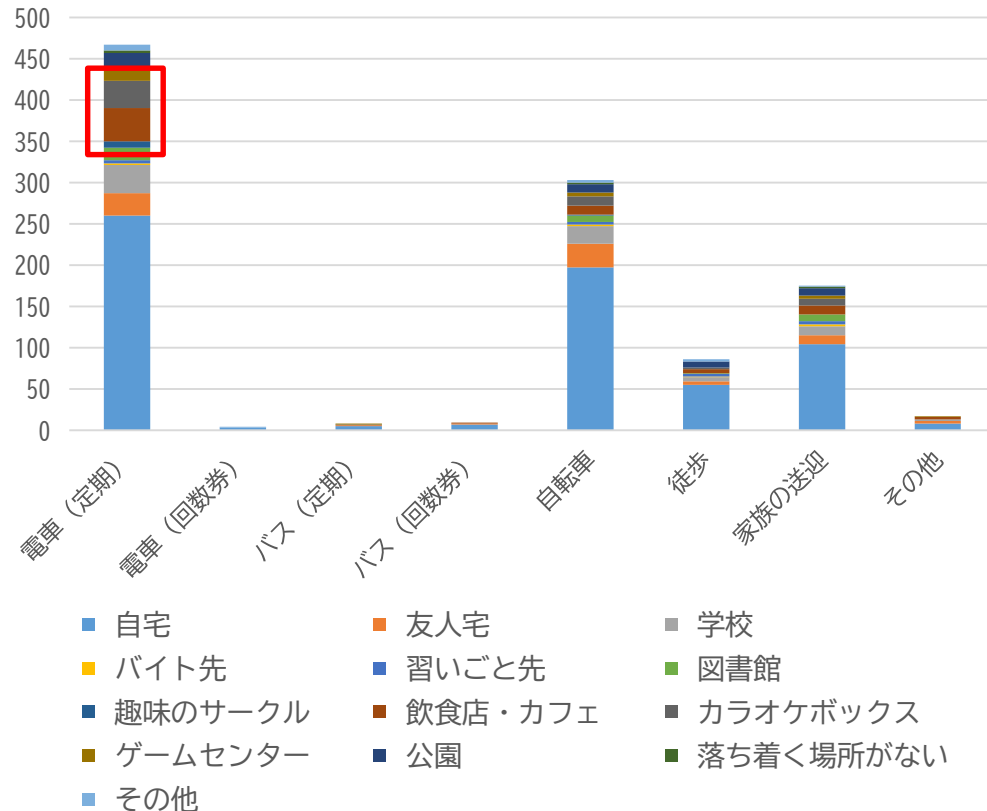
心が休まる場所

- 男女ともに「自宅」を心休まる場所を選んでいる人が多く、18歳以上40歳未満を対象とした「若者世代・子育て世代の市民アンケート」と、同様の傾向となった。
- その他として「海」「寮」「電車等の車内」等の回答があった。
- 通学方法別に見ると、電車を利用している人は「飲食店・カフェ」や「カラオケボックス」などに対しても心休まると感じている人が多い。

心が休まる場所（男女別）



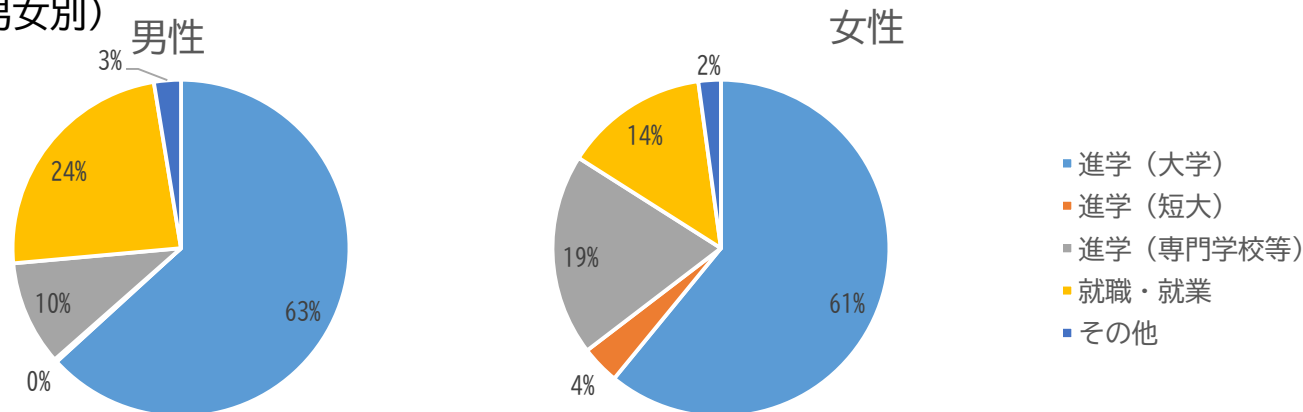
心が休まる場所（通学方法別）



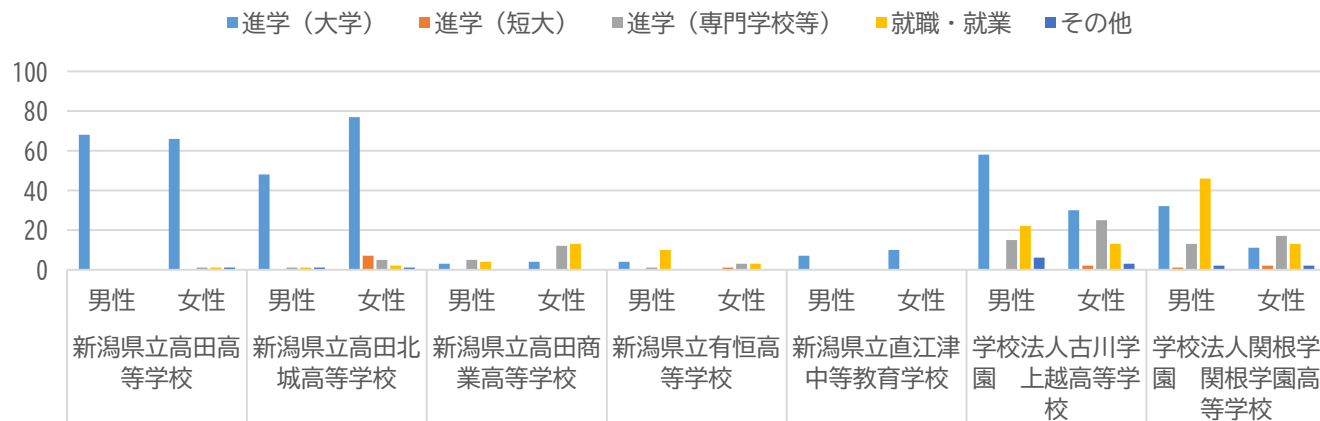
高校卒業後の進路希望について

- 男女ともに「進学（大学）」が最も多いが、次いで男性は「就職・就業」、女性は「進学（専門学校）」を希望している人が多い。
- 高校別では、高田高校、高田北城高校、直江津中等は「進学（大学）」を希望している人が多く、その他の高校では、「就職・就業」を希望している人が一定数いる。

高校卒業後の進路希望（男女別）



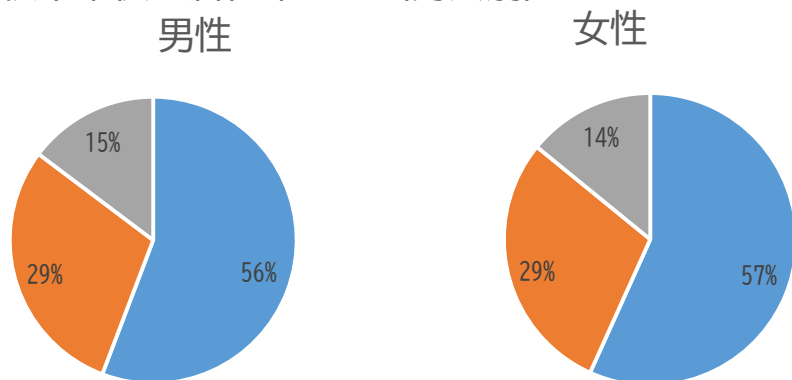
高校卒業後の進路希望（学校別）



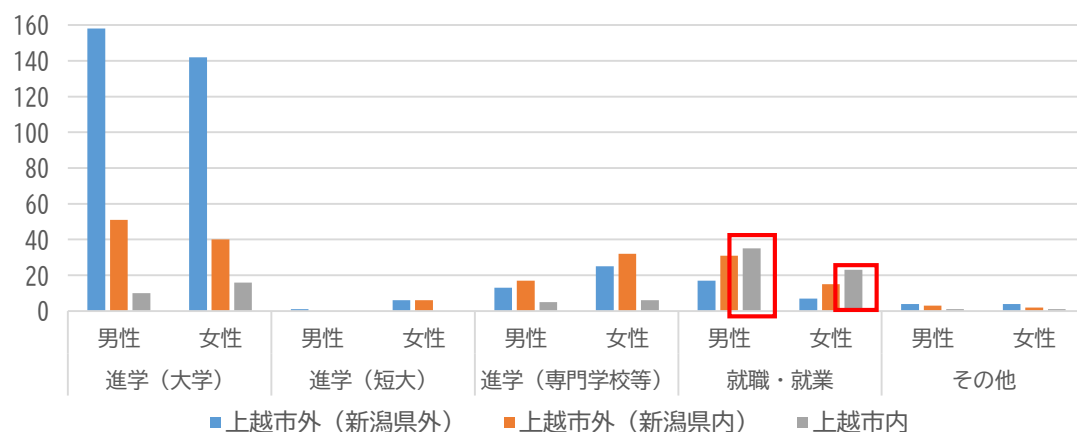
高校卒業後・大学等卒業後の居住希望地について

- 高校卒業後・大学等卒業後ともに「上越市外（新潟県外）」の希望が最も多い。
- 「就職・就業」を希望する人は、「上越市内」を希望する人が最も多い。
- 上越市外の大学等へ進学後、上越市内に戻ってくる人の割合は、男性のほうが多い。

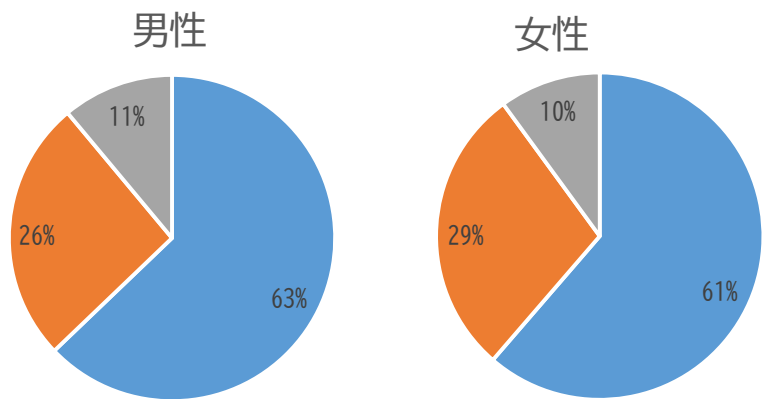
高校卒業後の居住希望地（男女別）



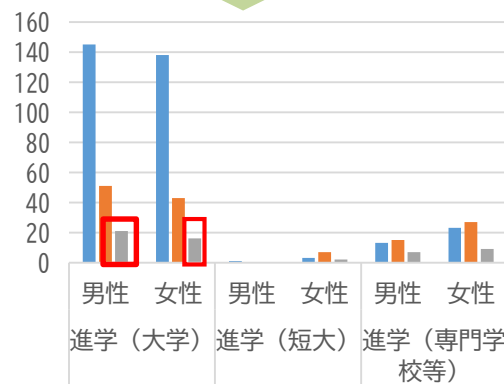
高校卒業後の居住希望地（進路別）



大学等卒業後の居住希望地（男女別）



大学等卒業後の居住希望地（進路別）

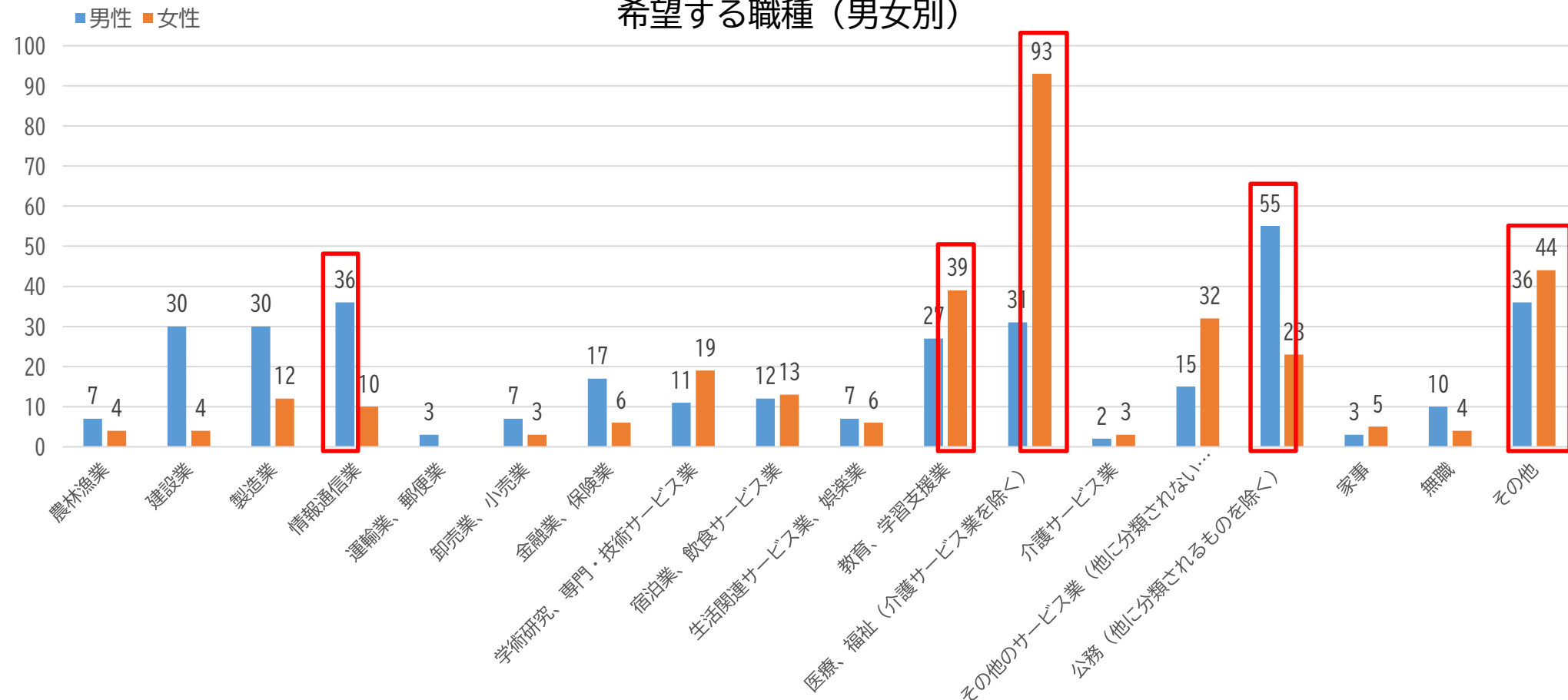


■上越市外（新潟県外） ■上越市外（新潟県内） ■上越市内

希望する職種について

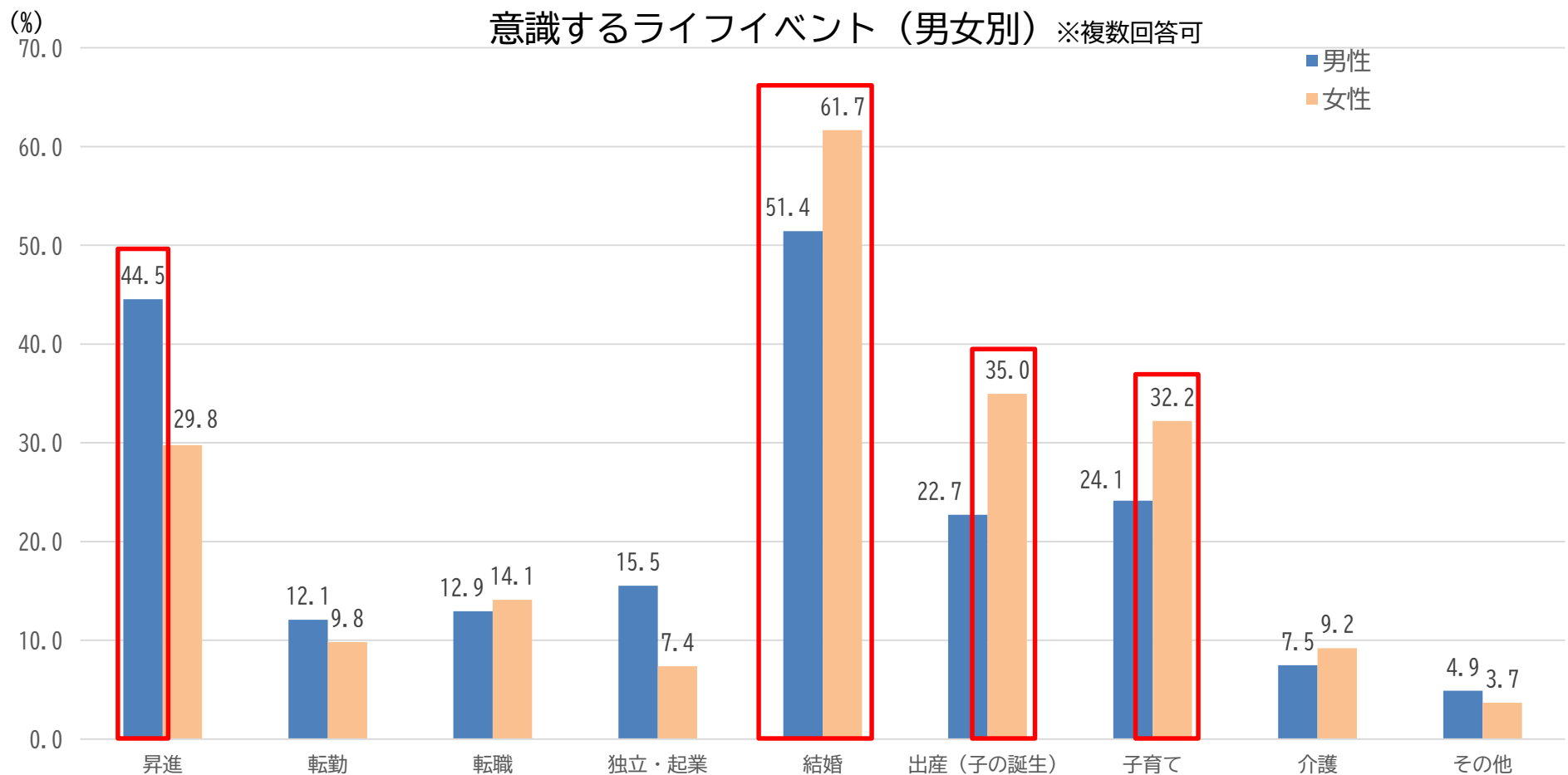
- 男性は、「公務」「情報通信業」の順で希望する人が多く、「若者世代・子育て世代の市民アンケート」と同様に「情報通信業」の希望が多い。
- 女性は、「医療、福祉」「教育、学習支援業」の順で希望する人が多い。
- 「その他」の割合も多く、「スポーツ選手」「音楽関係」「美容関係」や、具体的な職名の回答もあった。

希望する職種（男女別）



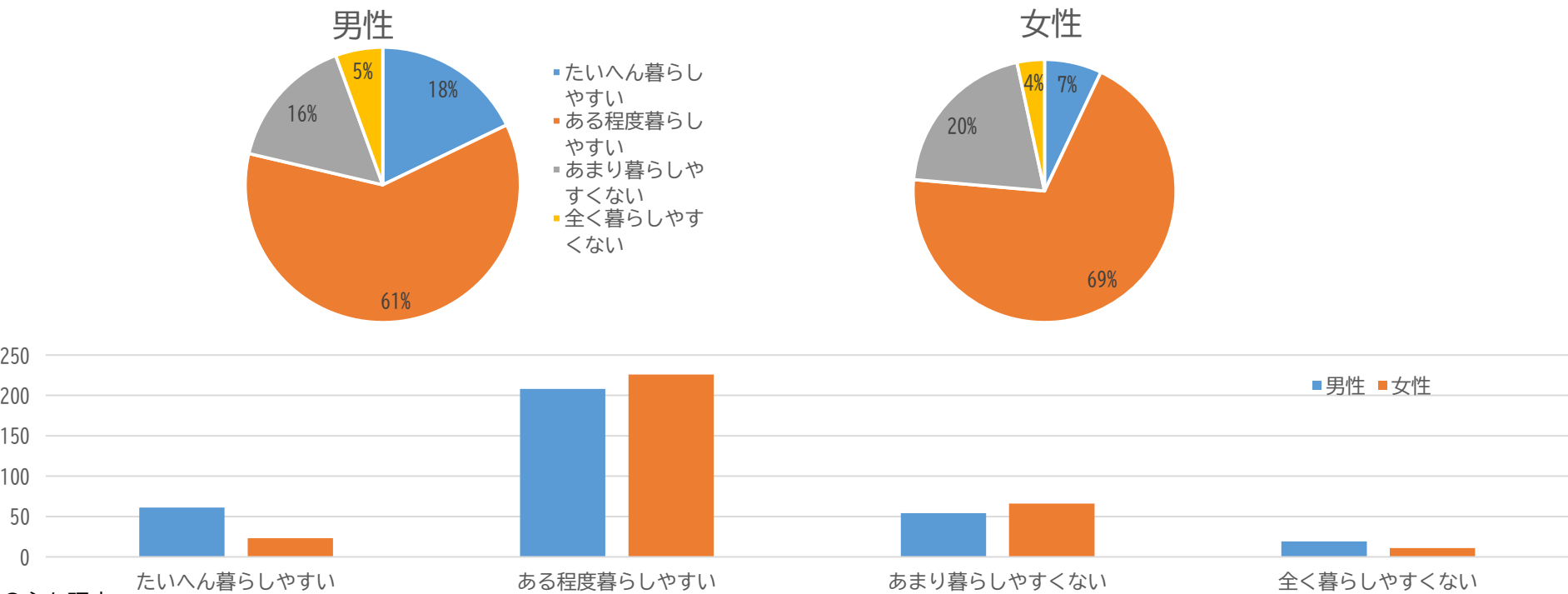
意識するライフイベントについて

- 男女ともに、「結婚」を意識している人が最も多く、半数以上（男性51.4%、女性61.7%）が意識している。
- その他、男性は「昇進（44.5%）」、女性は「出産（35.0%）」「子育て（32.2%）」を意識している人の割合が多い。



上越での生活を暮らしやすいと感じるか

- 男女ともに7割程度の人が「暮らしやすい」と感じており、特に「大変暮らしやすい」と感じている割合は、男性が高い。
- 「暮らしやすくない」理由として、「公共交通の便が良くない」「駅が遠い」「交通費が高い」など、交通関係が多くあげられている。

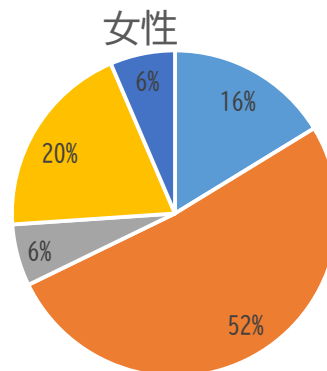
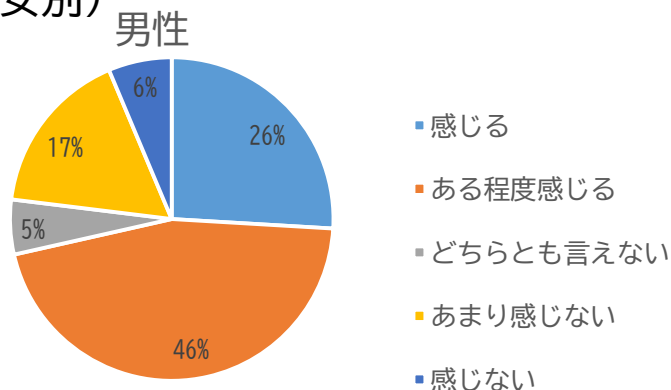


- | | | | |
|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・治安がよい ・自然豊か ・居心地がよい ・ある程度お店が揃っている ・家族がいるから ・都会過ぎず、田舎過ぎない | <ul style="list-style-type: none"> ・不便なことがない ・ある程度生活できる整備がある ・コンビニがある ・ごはんがおいしい ・慣れているから ・空気がおいしい | <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の便が良くない ・移動時間が長い ・駅が遠い ・遊ぶところが少ない | <ul style="list-style-type: none"> ・何もない ・交通費が高い ・田舎すぎる ・遊ぶところが少ない ・お店が少ない |
|--|---|---|---|

上越市への愛着

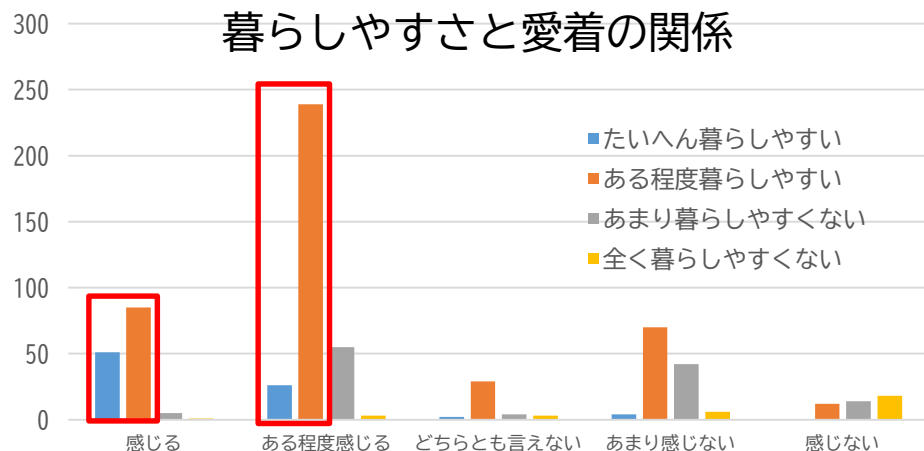
- 男女ともに、7割程度の人が上越市に対し愛着を感じており、暮らしやすさと同様に、男性の方が愛着を感じている割合が高い。
- 上越市での生活を「暮らしやすい」と感じている人ほど、上越に対し愛着を感じている人が多い。
- 上越市に愛着を感じている人ほど、将来、上越市内に居住したいと考える割合が多い。

上越市への愛着（男女別）

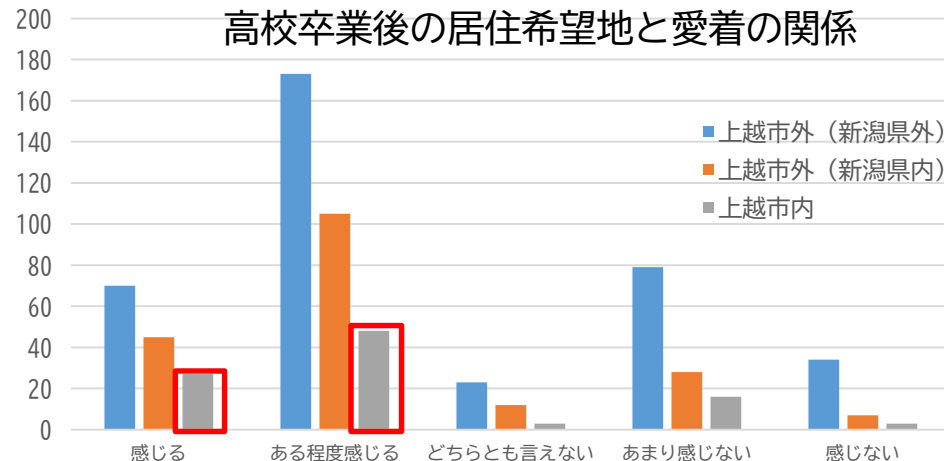


- 感じる
- ある程度感じる
- どちらとも言えない
- あまり感じない
- 感じない

暮らしやすさと愛着の関係



高校卒業後の居住希望地と愛着の関係



- 「学生や若者が遊べる場所を増やす」「大きな商業施設をつくる」等、娯楽施設や商業施設に関する意見が特に多い。
- 「交通の便の向上」「電車、バスを増やす」等、「公共交通」に関する意見も多く出されている。
- 「子育てしやすい環境を作る」「子育てに対する経済的ハードルを改善」等、子育て支援に関する意見も一定数見られる。

○その他の主な回答

- 【観光】・観光客を増やすために、シンボルのようなものを作る。
 - ・上越といえばこれ！というものを増やす。
 - ・数多ある史跡のさらなる観光活用。
- 【自然】・もっと自然と触れ合うスペースが整備されるべき。
 - ・公園や空（星や月）などの自然を活かした施設が必要だと思う。
- 【PR】・市をあげて取り組むイベントや伝統などを発信する。
 - ・もっとアピールを上手にした方がいいと思う。
- 【移住】・若い人たちの移住を促すような取り組みがあるとこの先良いのでは。
 - ・子育て世代の親を移住させたらいいと思う。
- 【居場所】・学生が放課後に気軽に行けるような施設がほしい。
 - ・気軽に足を運べる場所がほしい

○主な回答

住

- ・ 栄えすぎず安心できる
- ・ 程よくのどか
- ・ 気軽に買い物ができる
- ・ まちが静か
- ・ 学校がいっぱいある
- ・ 治安が良い

食

- ・ お米がおいしい
- ・ 水がおいしい
- ・ ラーメン屋がたくさんある
- ・ いろいろなお店がある
- ・ 独自の食べ物が多い

文化

- ・ お祭りが多い
- ・ スキーの発祥地
- ・ 雁木通り(昔ながらの街並み)
- ・ 高田城
- ・ 寺が多い
- ・ 春日山に歴史を感じる
- ・ 上杉謙信

自然

- ・ 自然が豊か
- ・ キャンプ場がたくさんある
- ・ 桜がきれい
- ・ 田んぼが多い
- ・ 星や空気がきれい
- ・ 海や山が近い
- ・ 雪がきれい

人

- ・ 温かさがある
- ・ 近所の人が挨拶をしてくれる
- ・ 近所と仲がよい
- ・ 地域の交流が盛ん
- ・ 数がちょうどよい

その他

- ・ 水族館がある
- ・ 災害がない
- ・ 新幹線で東京にすぐ行ける
- ・ 隣接県に行きやすい